

第四次鹿嶋市総合計画の施策目標を達成するため、鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2022年度版）における次の「主な事業指標」の追加等をご提案いたしますので、ご審議をお願いいたします。

2 基本政策：共に学び成長しながら生きる 施策：未来を担う人財「鹿嶋っ子」を育む

【総合戦略】主な事業指標

- ①事業者（株鹿島アントラーズ FC など）と連携したキャリア教育実施回数（既指標）
- ②中学3年生英検3級相当率（既指標）

《追加》

③国語・算数（数学）の全国学力・学習状況調査

現状値：国県同等 目標値：国県超

理 由：学校や学びの在り方などが新たな局面を迎える中、本市は先駆的に英語教育をはじめ、アクティブ・ラーニング、ICT教育機器の導入の推進などを図り、着実に自ら考え、行動する児童生徒を育み、学力の向上につなげてきました。

新たな学びのスタイルが取り入れられつつありますが、学力の向上には全ての学びの基礎となる国語・算数の能力を高めることが必要で、特に国語教育による言語能力の向上が重要であると考えます。

日本語の聞き取り、読み取りができなければ、他教科を理解することはできません。また、きちんと話す、書くことができなければ、自分の伝えたいことを相手に正しく伝えることができず、相手からも理解されなくなります。

特にSNSによる情報発信、情報取得などICT機器から文字を読み取る力が一層求められることを踏まえると、言語、すなわち、私たちにとっての日本語は、生活や仕事、良好な人間関係の構築に欠かせないものとなるため、鹿嶋市授業改善プロジェクトによる指導力の向上及び児童・生徒の国語・算数（数学）の学力の向上を追加します。

2 基本政策：共に学び成長しながら生きる 施策：豊かな鹿嶋文化を共に創り育む

【総合戦略】 主な事業指標

①地域イベント参加者数（既指標）

《変更》

変更前：②歴史文化関連施設の利用者数（既指標）

変更後：②郷土図書の貸出数

現状値：1,010冊 目標値：1,200冊（貸出数／年）

理由：本市の歴史文化に誇りを持っていただくには、本市の歴史を「知る」ことが重要です。そのためには、本市の歴史に興味を持ってもらい、更にもっと詳しく知りたいという方は、発展的な学びとして文化財に触れる等のほか、歴史文化関連施設への訪問（利用）といった行動になると考えます。

そのため、当初のK P Iは歴史文化関連施設の利用者数としておりましたが、本市の郷土歴史を誇りに思っていていただくためには、まずは本市の歴史を知り、また正しく理解し、興味を持っていただくことが重要であるため、そのきっかけ作り、手法等をK P Iに変更するものです。

中央図書館、大野分館及び学校図書館の郷土図書が充実し、児童生徒等が容易に手にすることができるよう環境を整え、郷土の歴史への興味と愛着を深めます。その他、学校等で鹿嶋の歴史文化に関する映像を視聴していただくことに加えて、中央図書館で郷土の歴史に関する講演会の開催、大野分館及び学校図書館で郷土図書をP Rする掲示等を行うことで、郷土図書への興味を喚起してまいります。